

希望を胸に新たな旅立ち 新成人607人をお祝い



◀旧友と一緒に続々と会場へと
足を運ぶ新成人



新たに大人の仲間入りをした新成人たちを祝おうと1月9日、東総文化会館で成人式が行われ対象者の82・7%に当たる607人（男306人、女301人）が出席しました。伊藤祐太さん（中谷里）の開式の言葉で始まった式典は、初めに宮崎真子さん（入野）のピアノ伴奏で国歌を斉唱。一体感のある歌声が響いていました。中学校の恩師など多くの来賓が出席する中、市長や県議会議員、市議会議員から成人を迎えてのお祝いや激励の言葉が贈られた後、横山靖典さん（飯岡）と伊藤公美さん（イ）が、新成人を代表して市長から記念品を受け取りました。

「新成人の意見発表」では、

遠藤知里さん（中谷里）、新行内龍太郎さん（二）、名雪拓也さん（後草）、高野詩織さん（三川）、米本一真さん（鍋木）の5人が、自分を支えてくれる人たちへの感謝の気持ちや大人としての責任、今後の抱負や将来の夢などを力強く述べ、会場からも大きな拍手が送られていました。

「思い出のスライド」では、

中学校時代にタイムスリップ。大きなスクリーンに懐かしい場面が次々に映し出されると、大きな笑い声や歓声が響き会場内を包み込みました。最後は、鈴木知子さん（後草）が閉式の言葉を述べ、和やかな雰囲気の内

に式典は終わりました。

式典終了後、会場の外では、

色鮮やかな晴れ着や真新しいスーツ姿の新成人たちが、久しぶりに再会した同級生たちと、共に談笑したり写真を撮り合ったりして、いつまでもはしゃいでいました。新成人の周りでは、成長したわが子の姿を懐かしむように、目を細める家族の姿がありました。



▲開式の言葉を述べる伊藤祐太さん



▲宮崎真子さんのピアノ伴奏



▲懐かしい思い出が次々とよみがえる

▶スクリーンに映し出される懐かしい場面思い出の中に自分や友人の姿を探す



▲記念品の贈呈を受ける横山靖典さん（中）と伊藤公美さん（右）



▲閉式の言葉を述べる鈴木知子さん

直撃
インタビュー

新成人の皆さん、 チョットいいですか？

- ①今、1番関心があることは？
②将来の夢は？ ③旭市をどう思う？ ④自由な意見をどうぞ！

大久保友里さん（三川）大学生



- ①アジアと日本の関係、それと介護の問題 ②自分の行動に責任を持って生きていきたい ③買い物や交通がもっと便利に、高齢者が住みやすい町になってほしい ④家族のみんなありがとう

家鍋直己さん（中谷里）大学生



- ①7歳からずっと続けている空手のこと ②武道で学んできたことを生かし、しっかりした大人になりたい ③自然を生かした町になってほしい ④これまで支えてくれた周りのみんなに感謝したい

吉岡彩奈さん（倉橋）会社員



- ①スポーツジムで体を鍛えること ②自分の行動に責任を持てる大人 ③とても住みやすく良い町だと思う ④いつも支えてくれる皆さんありがとう

薄田光平さん（口）大学生



- ①金融関係について ②銀行員になりたい ③住みやすいと思う、東京で1人暮らしをして余計そう感じた ④久しぶりに会ったみんなの変わりようにビックリ！

大木聡美さん（萬力）会社員



- ①政治情勢、菅総理大臣 ②善しあしの分かる人、良い奥さん、そして良いお母さんになりたい ③環境が良く、とても住みやすい ④今日の成人式が楽しみ

発表した新成人の皆さん。左から名雪拓也さん（海上中）「成人式を迎えて」、新行内龍太郎さん（旭二中）「人生、挑戦しつづけること」、遠藤知里さん（旭一中）「成人式を迎えて、また将来の自分」、高野詩織さん（飯岡中）「新成人になって」、米本一真さん（干潟中）「成人式を迎えて」※（ ）は出身中学校、「 」は発表タイトル。

